

# 興生

奈良県生協連

2002年4月

NO.44

## 万葉のいぶきを求めて—(9)



興福院の桜

<sup>かすが</sup>春日なる <sup>みかさ</sup>三笠の山に月も出でぬかも 佐紀山に 咲ける桜の花の見ゆべく  
作者不詳

平城京の一条大路周辺は奈良時代、大宮人たちの邸宅が立ち並んでいたところである。道の南は佐保川が流れ、邸宅街の背後には佐保山が低い山をつらねる。その西端が佐紀山である。いまその麓には閑静な尼寺で有名な興福院が静かなたたづまいを見せている。

この付近を明治31年に関西鉄道が開通し、その後路線が木津経由に変更になり、明治40年8月に廃線になるまでの約9年間この法蓮の地に大仏駅があったことを知る人は極めて少ない。いまも佐保川の河畔には当時の機関車の動輪が記念として展示されている。

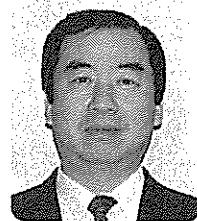
「今夜は三笠山に出る月がおそいなあ。佐紀山の満開の夜桜を楽しもうと思っているのに……」  
万葉の時代の桜は山桜であったが、今日も興福院の前には見事な桜が咲きほこっていた。

# 新世紀での「生協の出番」を 再度確信しましょう

奈良県生活協同組合連合会

専務理事 瀧川

潔



うららかな陽射しの中で4月の新しい年度を迎えました。

21世紀に入った昨年度は、「忌まわしさも極限の同時テロ」や「世界同時不況」、食を震撼させたBSE（狂牛病）など、私達の生活においても世界の出来事に否応なしに巻き込まれる、まさにボーダレスの時代になったことを確認せざるをえない状況を生み出しました。あれだけ憲法問題が重視されてきたにもかかわらず、あっという間に自衛隊は海外に派遣され、戦力を振りかざすブッシュ大統領のもとに日本の「戦力」が組み込まれる事態に対し、マスコミを先頭に「世論」が同調してゆく風潮は、「平和とよりよき生活」を掲げる生協として憂慮せざるを得ないのではないのでしょうか。新しい世紀の2年度にあたって、再度「エネルギー、食料、平和、環境、人間性（福祉・宗教も含む）」の5つの世界的な危機を確認することが必要だと感じます。

世界各地で活躍する生協は、これらの世界の危機に、常に日常生活の中から問題意識をもち、Think globally, Act locallyで地道な活動を進めてきました。新しい世紀の中でこそ私たち生協の活動が出番を迎えているし、また迎えるべきなのでしょう。

「食の安全」の問題において生協は、一昨年から全国の大きなうねりを起こし、「食品衛生法改正を求める請願署名」が、なんと国会議員の約8割の賛同を得て昨年12月採択されました。私達の粘り強い活動は、このような今までにない運動をしっかりと作り出せる力になっているのです。

また世の中は、ボーダレスな側面と同時に「地方の時代」と称されるように、地域を重視することが大切になっています。「地方分権一括法」も昨年度より発効しています。その意味でも各地の府県連合会の重要性が高まっています。

奈良県生協連においても、地域や企業労働組合、学園において、生協の地道な活動を進めていますが、一昨年来の請願運動を契機にして、今まで対応が不十分だった県議会に対する働きかけを強めてきました。そしてようやく、県議会の各会派議員さんとの懇談を開始することができました。その中で、今さらながら驚いたことは、多くの議員さんにとって生協は「一握りの左翼活動団体」と認識されていたことです。私達が生協法や活動の中味を説明する中で、ようやく県民の幅広い生活改善運動であり、生協の声を県政に反映することが重要であることを次第にご理解いただけるようになってきつつあります。これからの21世紀の議会では、もっと議員さん達が市民運動との提携を推進されないと「あたらしい県政のうねり」はつくりだせないとの意識を広めていただければと考えます。

県民のくらしは今年度も厳しさを増しています。県民の生活をまもり発展させて行くそれぞれの生協の活動を推進し、「5つの世界危機」への対応をThink globally, Act locallyに強化し、特に食の安全確保を目指す「食品衛生法の改正」運動を先頭に掲げて、事業の足元をしっかりと固めつつ、力強く前進してまいりましょう。

# 2002年度のとりくみ

## 基本課題

- 1) 会員生協の組合員活動との連携を強め、地域とのネットワークをひろげます。
  - ・グリーンコンシューマー活動
  - ・事業所における環境負荷削減の取り組み
  - ・アースデーの取り組み
  - ・持続可能な開発に関する世界首脳会議(ヨハネスブルク・サミット)の成功に向けて
  - ・介護、介助・配食等のたすけあい活動
  - ・障害者団体との連帯活動
  - ・ピースアクション期間での平和活動の多様な取り組み
  - ・ユニセフ等国際連帯活動
  - ・ノーモア・ウオーの取り組み
  - ・食の安全懇談会活動
  - ・大学生協連京滋・奈良地域センターとの連携
  - ・学生の文化的要求実現への支援
  - ・ならコープ消費者ネットワーク「こむらいふ」との連携
- 2) 会員生協の経営状況の共有化を進めます。
- 3) 協同組合間協同を強めます。
  - ・協同組合デーのつどいの成功
  - ・都市と農山村との交流事業・協同事業の推進
- 4) NPO、消費者団体等との連携を強めます。
  - ・食文化研究会への参加
  - ・関西消費者団体連絡懇談会との連携
  - ・消費者フォーラムへの参加
  - ・環境NPOとの連携
- 5) 県行政・市町村行政との連携を強めます。
  - ・県民生活課との連携
  - ・県生活衛生課との連携
  - ・県防災課との連携
  - ・課題に対応する県各部局との連携
  - ・課題に対応する市町村行政との連携
- 6) 議会、政党および会派との関係を強めます。
  - ・県議会各会派との懇談
- 7) 生協間の連帯を強めます。
  - ・日生協および関西地連との連携
  - ・近畿府県生協連との連携
- 8) 広報活動を強めます。
  - ・生協連ニュース「共生」の内容の充実
  - ・ならコープ広報課との連携
- 9) 災害時の緊急対応を強めます。
  - ・行政との連携
  - ・近畿府県生協連との連携



新年度にあたって	②	食の安全	⑦	広がる協同・くらしの輪	⑫
2002年度のとりくみ	③	福祉	⑧	つながる連帯・友好の輪	⑭
2001年度トピックス	④	環境	⑩	県連日誌・お知らせ	⑯
県議会会派・市長懇談	⑥	平和	⑪		

2001年度

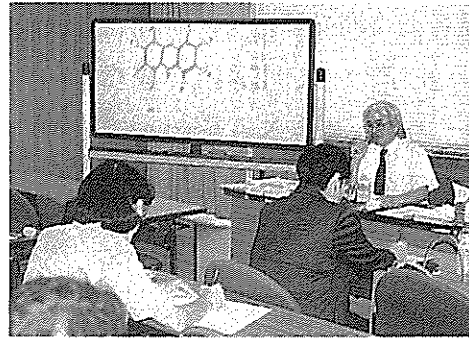
# トピックス

## 「食品衛生法改正・運用の充実強化」等に向けて

日本生協連の呼びかけに応じ、食の安全を確保するための社会的なシステムづくりの一環として1999年から取り組み、請願署名が奈良県で27万筆、全国で1373万筆となった「食品衛生法の改正・運用の充実強化」に関する請願が、第153回国会衆参本会議において全会一致で採択されました。今後も食品の安全を確保するための法改正に向けて全国の生協と連携しながら、また奈良県においては「食の安全懇談会」の活動を広げ、奈良県の食品安全行政の充実強化に向けて取り組んでいきます。

## 食の安全懇談会

9月4日、奈良県文化会館において、食の安全に関する2つの署名に協力いただいた団体にも呼びかけて「食の安全」をテーマに講演会を開催しました。そして11月19日「食の安全懇談会」をたちあげ、3ヶ月に1回の割合で学習を中心に開催しています。



## 奈良県労働者共済生活協同組合創立40周年

5月16日創立40周年を迎えました。10月に祝賀会、12月に記念イベント「親と子のふれあいチャリティ劇場」を開催しました。たすけあいの精神で誕生してから今日まで、広く勤労市民、生活者から認知され、2001年5月末現在、組合員58,997人、協力団体266団体、契約高2兆8千億円となりました。

## 第12回奈良県生協大会

10月27日奈良県文化会館小ホールにおいて「環境の21世紀へ」をテーマに開催し、家族参加の組合員等130名の参加がありました。式典の後、アニメ「いのちの地球・ダイオキシンの夏」の映画上映を行い“美しい地球の未来のために”各々の感性で共有し交流を深めました。



## アースデー2001 in なら

4月22日「地球の日」、奈良県第一浄化センターにおいて開催され、17団体8行政の協力を得て、1,400人が参加しました。大和川クリーン作戦や多彩な企画で交流を深め、世界の環境を考える市民とともに行動しました。

## 第13回ひまわり号列車

11月3日まさかの雨の中、ひまわり号列車が350名の夢をのせて実りの秋、山城多賀へと走りました。車椅子や目の不自由な参加者にはボランティアが付き添い、雨の中でも生活の自然な流れの行動で、確かな実りを実感しました。

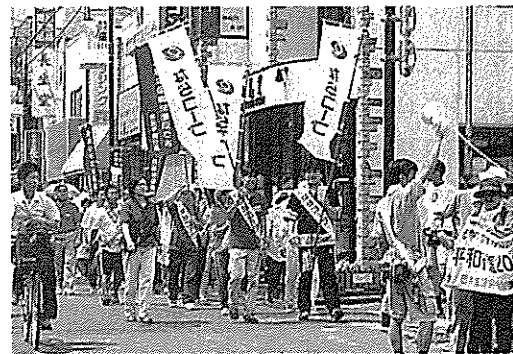


## 第9回協同組合デーのつどい

7月2日、農協会館において、平和とより良き生活をめざして協同組合運動の前進を誓い、開催しました。農協、森林組合、生協から94名が参加し、NHK番組制作局プロデューサー掛川治男氏より「日本の食と農についての考え方」についての講演が行われました。

## 2001奈良県市民平和行進

5月6日、東京夢の島を出発し、8月4日、広島平和公園にゴールした2001市民平和行進は、6月26日～30日奈良県入りし、県内各地をリレー行進しました。また、市民の平和への想いを行進にたくし地域全体に広げたいと、各地で「平和のつどい」等を持ち、延べ804人の行進・つどい参加がありました。



## 消費者問題出前講座

消費者契約トラブルなどの被害に遭わないための啓発を目的として、内閣府が企画し、(社)全国消費生活相談員協会が実施主体となって開催された消費者問題出前講座を、1月18日～3月4日の間、ならコープの店舗等11ヶ所で開催し、延べ172名の参加がありました。

## 行政との協議会

### ◇近畿地区生協・行政合同会議

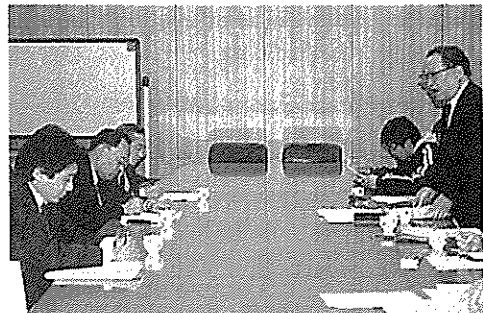
9月7日、京都府公館において第13回近畿地区生協・行政合同会議を開催しました。厚生労働省、近畿厚生局、日生協、各府県生協連・各府県行政の担当部局からの報告と、意見交換を行いました。

### ◇近畿農政局との懇談会

11月13日、近畿農政局と近畿地区生協連との懇談会を開催し、日本の食料自給率の向上、食生活の見直し、生産者と消費者の連携強化、安全・安心の確保、食品リサイクル法などにおける生協との連携に向けてなどの意見交換を行いました。

### ◇生協・県行政協議会

5月16日と11月15日、生協・行政協議会を開催しました。奈良県の食品安全行政の充実強化、消費者・生産者連携強化、環境活動強化、福祉活動強化、消費者行政の充実強化、災害時における県民生活の安定を図る協定について、子育て支援、男女共同参画などの施策に関して回答をいただき意見交換をしました。



# 県議会会派・市長懇談

## 自民党政調会との懇談会

2001年3月県議会で「奈良県の食品安全行政の充実強化を求める請願」の趣旨採択後の進捗状況について、自民党政調会との懇談会を、2月20日、奈良県議会事務所において開催しました。生協側からは、食品衛生法改正請願採択の経過と全国的な動きについて、県内消費者団体に呼びかけてスタートした「食の安全懇談会」の活動の状況についての報告を行いました。

松井政調会長からは、請願趣旨採択後、その内容がどこまで具体化出来ているかなどの状況について県から以下の説明を受けたことの報告がありました。

- 食品の安全のための庁内連絡会議は生活環境部、農林部、教育委員会、健康局で構成し、基本方針の策定に向けて進んでいること。
- ただし条例の制定については国の法律の動向を見てからになるので、現状では具体化は出来ないこと。
- 食品添加物・残留農薬等の検査体制の強化については残留農薬検査のための機器を導入するなど、強化に向けて準備を進めていること。
- 遺伝子組換え食品の検査については定量検査は困難だが、定性検査については平成14年度からの実施に向けて衛生研究所で対応していること。
- 環境ホルモン等の検査については安全性等ははっきりしない点が多いので、国レベルでの研究の結果を待たなければならない状況であること。
- 懇話会、審議会の設置については庁内連絡会でも市民の声を聞くことが必要であるとの見解になっており、何らかの形で市民の声が生かせるようにする方向であること。
- 消費者への情報開示については全体的なことは可能だが、個別のものについては営業妨害等の問題もあり、困難だが出来るだけ開示していく方向であること。



- 自民党としては改めて県議会に国会への意見書を提出し採択したいと考えており、その準備に入る予定であること。

この後、議員と率直な意見交換を行い、今後このような意見交換を継続することが必要との確認がなされました。

### <参加者(敬称略)>

自民党政調会＝松井正剛会長、安井宏一、鍵田忠兵衛、神田加津代、上田悟（以上副会長）、中尾恂（事務局長）

生協連＝繁田会長、瀧川専務、仲宗根理事、入口事務局長、横田ならコープ職員

### 市長との懇談

組合員の願いが商品のことだけでなく、環境、福祉や子育てなど暮らし全般にわたってひろがる中で、組合員の様々な活動が地域の中で活発に行われています。一方、地方分権一括法が施行され、地方分権の本格的な推進に向かって動きだしています。このような状況の中で、これまで市町村行政との話し合いの場がもてず、行政の生協への理解が充分得られていないと思われる中で、今回、ならコープでは、瀧川副理事長や地元組合員とともに市長との懇談を通じて生協への理解を深めてもらおうと訪問を始めました。3月末までの懇談は橿原市安曾田豊市長、御所市前川正市長、大和郡山市上田清市長、香芝市岡田記郎助役です。

# 食の安全

## 食の安全懇談会 (第3回)

2月26日(火)奈良県食品衛生検査所を訪問し、牛肉の屠畜の見学、BSE検査室の見学の後、BSE検査について、食肉検査課の中谷主査を講師に学習会をひらきました。衛生検査所では昨年10月18日からBSEの全頭検査がスタートし、陰性と判定されるまでは屠畜場の外へ一切出ない体制になっていること。また屠畜の作業上、皮や内臓を取り除く際に、ひとつ一つの臓器がどの牛のものであるかがきちんとわかるように、全てのパーツに番号札をつけ管理をするなど細心の注意が払われていることなど、検査の実際の説明などを受けた後、参加者からBSE検査「エライザ法」や衛生検査所でチェックを受ける食肉以外で化粧品などに使われるコラーゲン等の安全性など様々な質問が出され、それぞれ解説をいただきました。消費者団体から16名の参加がありました。



## 「食品衛生法改正研究会報告書」学習会

3月6日大阪コロナホテルにおいて170名の参加で開催されました。神山美智子弁護士から、食品衛生法の根本的欠陥について事例を含めて報告されました。また、日生協法規担当の宮部氏より、試案の考え方についての解説が行われました。

## 「食品衛生法改正研究会報告書」学習会 日本生活協同組合連合会



福原市安曾田豊市長との懇談



大和郡山市上田清市長との懇談



香芝市岡田記郎助役との懇談

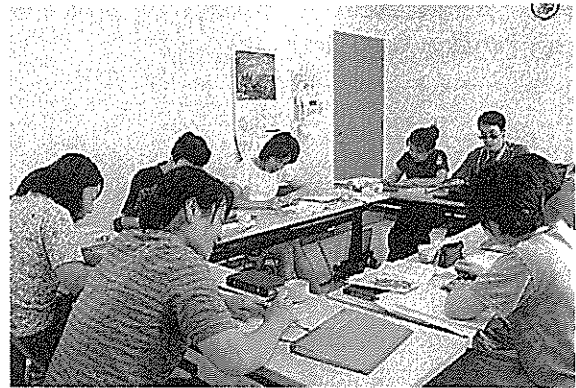
## ならコープ 点訳サークル てんとうむし

奥谷 みね子

学生の頃、ホームで視覚障がいの方を良く見かけた。声をかけてあげれば良いとわかっていながら恥ずかしくて声が出なかった。声を出さなくても何か自分に出来る事はないか？そんな思いがずっと心に残っていた。そんな時、ならコープ機関紙「あをがき」で点字講習会を知り、「最後までめげずにガンバロウ」で終わった。しかし、点字をつづけたいと思う人達と視覚障がい者2名の計16名でサークル「てんとうむし」として立ち上げた。今年で一年目。「てんとうむし」の名のとおり六つの点で50音、数字、アルファベット、それに用いる符号で点訳する。少し打てるようになった頃、今の私達にも何か出来る事はないか？ 最初の要請は障がい者用の商品案内の吹き込みカセットテープに貼るシール。シールに打つのは初めて。「間違ったらどうしよう」の声。出来上がり少し感動。また、サークル仲間であり先生でもある障がい者の方から、奈良で全国から障がい者が集まる会議の協力依頼があり、宿泊施設に「てんとうむし」が出勤。両手で押さなければ打てないシールに点字を打ち貼っていくのだが、貼る場所が問題。ルームナンバーも普通は目の高さだが、障がい者はそうはいかない。触って良くわかる場所がどこなのかわからない。結局、障がい者の方と一緒に「あーだ、こーだ」と言いながら、最後にはドアノブの上に貼った。トイレ、エレベーターも同様。自販機もまた問題。ジュース、ビールにも種類がいろいろあるが、私達は目で見てボタンを押すだけ。それをどういうふうな点字に直し、どの場所に貼るかを考えるのが難しい。でも大変喜んでいただいて、会議が終わった後も、このまま剥がさずにおいて欲しいと言われて私達も嬉しかった。次に取り組んだのが冊子「コープ

便利帳」。B5二枚の紙が、点訳すると約16枚にもなり、約半年かけて仕上げた。その中にはアンケート用紙も入れ障がい者の声を聞く。障がい者が本当に望む事を、今の私達に出来る事をしたい。これがサークルの思い。また店舗利用者の為に133品目の点字シールも作った。今サークルでは点字をパソコンで打つ練習も始めているが、まずは手で打っていく事。

点字を打つ「コツコツ」音をもっと多くの人の手で、大きな音になるように皆さんも一緒に活動しませんか。





# 全労済 ホームヘルパー養成講座

全労済では、「人と人との助け合い」を原点とする協同組合として、急速に進む高齢社会の中で高齢者が住み慣れた自宅で安心・安全で快適に暮らすことができるよう、在宅介護の担い手であるホームヘルパーを育成していくことを目的に「全労済ホームヘルパー養成講座」を開催してきました。

2001年度も、各府県本部でホームヘルパー養成講座を開催し、近畿内では159名の修了生がホームヘルパーの資格を取得され、家庭での介護やボランティア、そして職業として等、それぞれの場で活躍されることとなりました。全労済では、今日までに全国で延べ10,000名を超えるホームヘルパー（1～3級）を育成してきましたが、介護保険が実施されて以降、ますます重要なマンパワーとしてヘルパーの活躍が期待されている中では、ゴールドプラン21（厚生労働省・高齢者保健福祉推進計画）で今後（2005年度）必要なヘルパー数として定められている35万人の5%（17,500人）のヘルパーを全労済が養成していくことを目指し、今後も引き続き開催していく予定です。

2002年度のホームヘルパー養成講座の詳細については未定ですが、下記の通り開催を計画し、現在その準備を進めているところです。詳細日程および募集の開始は、4月下旬を予定しておりますので、資料をご希望の場合には、お気軽にご連絡下さいますようお願いいたします。

## ■ 2001年度・ホームヘルパー養成講座の開催状況

[会場・修了者人数・実施形態等]

開催場所	修了者数	実施形態
奈良会場	25名	通信教育型

[実施カリキュラム(概要)]

学習形態	講座内容	
通信教育型	自宅学習	レポートの提出
	講義・演習	4日間(20時間～22時間)
	実技実習	5日間(30時間)
	施設実習	4～5日間(30時間)

※通信教育型は、自宅学習を基本に通信添削レポートの提出と4日間の面接授業。

## ■ 2002年度開講予定の講座

●通信教育型2級課程（2002年6月開講予定） 受講料：5万円（テキスト代、実習費含む）

開催場所	主会場（予定）	定員	お問い合わせ先
奈良会場	全労済奈良県本部 奈良市西木辻町200-47	30名	全労済奈良県本部 事業推進部 TEL 0742-27-5353 (担当：高西)

# 環境

## アースデー2002 in なら にもあなたも参加しませんか

— 「地球の日」地球のために —

環境の世紀、21世紀も2年目を迎えました。アースデーでは、「美しい地球の未来のために」立場や国境をこえて5億人もの人々が、世界中で同時に様々な行動や意思表示をし、変革への大きな力を生み出し、持続可能な社会の実現に向けたいろいろな活動に弾みをつけることを目指します。奈良県では「アースデー2002 in なら」が4月21日(日) 奈良県第一浄化センター自由広場で開催されます。あなたもご家族で、グループで、参加してみませんか!!

EARTH DAY 2002 in NARA

# アースデー2002 in なら

奈良県第一浄化施設センター自由広場

4/21 日

時間 9:45~14:30 (開場9:15)

## 大和川クリーン作戦

時間/10:00~11:00 わたしたちのまちを流れる川はわたしたちの手できれいしよう!みなさんの参加で結成される「大和川クリーン隊」が大和川を一斉清掃します。さあ、あなたも「大和川クリーン隊」に参加しましょう。

【持ち物】軍手・火ばさみ(ゴミ袋は当日会場でも配布します)

**1 自然観察会**  
時間/11:30~12:30  
環境科学博士 益壽三先生と公園内の自然を散策。春の暖気に誘われて顔を出したいろいろな植物や生き物たちに出会いませんか?  
大要事前申し込み/定員100名(先着順)

**2 ウォークラリー**  
時間/11:30~随時(受付は11:30~13:00)  
公園内にある3ヶ所のチェックポイントを探索しチェックポイントで出題されるクイズに全問正解するとお楽しみグッズがもらえます!  
大要事前会場にて受付/定員100名(先着順)

**3 オリジナル風つくり**  
時間/11:30~  
世界でたったひとつの風が大空に舞います!あなたがつくったオリジナル風を、広場で飛ばしてみませんか。(なら祭の会協力)

**4 ホエクラフト**  
時間/11:30~随時(受付は11:30~13:00)  
ホエクラフトの体験コーナー、ペンダント、ネームプレートなどをつくります。  
大要事前会場にて受付/工作のできる服装でご参加ください  
定員100名(山守の会協力)

**5 浄化施設見学ミニツアー**  
時間/11:30~12:30  
わたしたちの暮らしから出る污水は、きちんと浄化してから川に流されます。污水が浄化される様子を奈良県浄化センター見学ミニツアーで学びましょう。  
大要事前申し込み/定員30名(先着順)

**9:45~ オープニング**  
大和川クリーン宣言  
奈良県大和コカリナ合衆団 が開会宣言をします。  
やまびと博太郎  
大きな木の太鼓演奏、迫力満点です。

**11:15~ 奈良県大和コカリナ合衆団**  
環境を考えた楽器「コカリナ」を  
桜井市立植田小学校のみなさんが  
演奏します。

**11:30~ 発信!環境大作戦**  
ならコープのみなさんがわたしたちの日常でできる  
環境のための取り組みについて楽しく教えてくれます。

**12:00~ ふるまいおもちつき**  
来場した方々にも軒を振ってもらいます。  
できあがりおもちをみなさんでご相伴

**12:45~ おもしろミュージカル**  
シアターOMがお届けする  
環境ミュージカル「みんなで守ろう、  
河川環境(仮題)」. ぞろぞろ!

**13:30~ わくわく抽選会**

**アースデー アクション編**  
みんなで楽しく自然にふれよう!

**アースデー ステージ編**  
楽しみながら環境を考えよう!

**会場案内**  
会場：奈良県第一浄化施設センター自由広場  
〒742-0201 奈良県大和郡大和町大和川1-1-1

主催 アースデー2002実行委員会(主体団体:市民生活協賛組合ならコープ)  
共催 奈良県環境協賛組合、奈良県大和郡大和町環境局、大和川クリーン隊、奈良県、川西町、奈良県環境フォーラム、  
協賛 奈良県環境協賛組合、(株)ならコープ

お申し込みはすべてお電話をお願いします。(受付開始:4月8日(月)午前9:00~)

お申し込み・お問い合わせ/ならコープ各店見聞録まで  
TEL. 0742 (34) 8735

ならコープ  
ならコープ各店見聞録  
お申し込みは、ならコープ各店見聞録まで  
TEL. 0742 (34) 8735

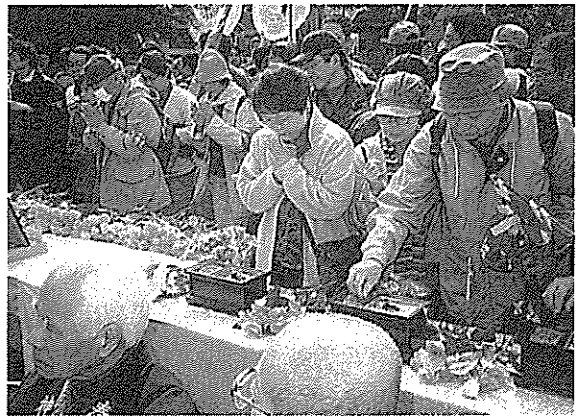
# 平和

## 2002年3・1ビキニデーに参加して

ならコープ平和担当理事 烏野 純子

ビキニ被災48周年を迎える原水協全国大会が今年も2000人を越える参加者で静岡県焼津市で開かれました。ヒロシマ、ナガサキに続く悲劇を忘れる事なく、改めて第五福竜丸の水爆実験による被害を知り、「核兵器も戦争もない21世紀を」を、メインスローガンに集会が持たれました。

世界各地から、日本の各界からも取り組みや熱いメッセージが寄せられました。マーシャル諸島からは、電話による同時進行で、会場と意思を一つにしました。各地の草の根活動は今自分たちに出来ること、しなければならぬことがリレー報告されました。



また、前日2月28日には生協の仲間で「虹のひろば」が静岡市内で開催され、26生協、230人が集い、平和活動のスタートを確認しました。夕方には静岡県生協連実行委員会のご好意で、ビキニで被爆し亡くなられた、まぐろ漁船第五福竜丸無線長、久保山愛吉さんのお墓、弘徳院にお参りすることができました。生前大好きだったばらの花を供え、平和の原点を大切に守る気持ちを新たにしました。

2002年2月15日

アメリカ合衆国大統領 ジョージ・W・ブッシュ 殿

英国首相 トニー・ブレア 殿

市民生活協同組合ならコープ理事会

### 貴両国による共同の臨界前核実験に対し厳重に抗議します

貴両国は共同で、2月14日午後1時30分（日本時間15日午前6時30分）、米国ネバダ州の地下核実験場において臨界前核実験を行ったと発表しました。

米国エネルギー省は、「実験は核爆発を伴う臨界に達しない為、包括的核実験禁止条約（CTBT）には違反しない」と主張し、目的を「核兵器の安全性と信頼性の維持である」と説明しています。この説明は、実験のたびに繰り返されてきたものであり、国際社会から「CTBTを死文化させるもの」として批判されてきました。

今回、貴両国が共同で核実験を実施したことは、国際社会の中で非常に大きな影響を及ぼす行為であり、強い憂慮の念を抱かざるを得ません。これは、核抑止力の誇示が同盟的に行われたという事であり、また軍事的にデータを得るといった積極的な姿勢の具体的な現れでもあります。また、新たに核実験を行う国が1カ国増えたという非常に残念な事態をも意味しています。これらのことは、対テロ軍事行動が行われて以降、世界中の市民が感じている「戦争の恐怖」をさらに増大せしめるものであり、核廃絶を願う私たち市民の願いとまったく相容れないものです。今回の実験を、私たちは断じて容認することが出来ません。

私たちならコープは、「平和とよりよき生活のために」をスローガンに取り組みを進める立場から、今回の貴両国共同による臨界前核実験に対し、厳重に抗議します。そして今後一切の核実験の中止、および貴両国のリーダーシップが「核廃絶」に向けてこそ発揮されることを強く求めてやみません。

# 広がる協同・くらしの輪

## 消費生活審議会

2月13日、猿沢荘において開催されました。会長等の選出、消費者苦情処理部会委員の選出、平成14年度消費者行政事業計画、奈良県ホームページの審議会情報の掲載、生活科学センターにおける消費生活相談の動向や牛海綿状脳症(BSE)対策等について話し合われました。

消費者代表として奈良県生協連から繁田会長が出席しました。

## ユニセフのつどい

3月14日、「ディアーズコープいこま」において「ユニセフのつどい～ユニセフのこと、あらためて知ろう～」が開催されました。(ならコープ主催)

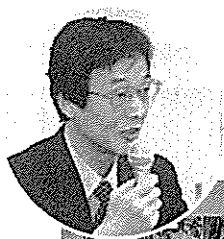
激しい空爆にさらされたアフガニスタン難民の現状と復興支援の状況、ラオス指定募金の活用状況についてOHPやスライドを使っての報告や、バック・ツー・スクールキャンペーン(子供を学校にもどそう)についての説明がありました。

## 川上さぶり住宅デザインコンペ

2月27日、川上村内の製材業者らでつくる川上産吉野材販売促進協同組合の主催で開催されました。全国の設計士や建築家らの応募作品55点の中から、吉野材を生かした入賞作品6点、佳作7点が選ばれました。入賞作品の中から、施主が実際に建築してほしい1点を選び、完成後入居する予定です。審査員として、消費者の視点で仲宗根理事が参加しました。

## 消費者団体交流プラザ

2月11日橿原文化会館において、17団体32名の参加で開催されました。県民生活課中田課長のあいさつの後、「今日から、あなたは自立する消費者・賢い消費者—最近の消費者トラブルから—」と題し、(社)全国消費生活相談員協会の藤井教子理事長より講演があり、参加者から身近に起こっている問題について多くの質問が出されました。



## 地球環境を考える県民のつどい

2月11日橿原文化会館において、250名の参加で開催されました（主催 親切・美化奈良県民運動推進協議会、奈良県、奈良県資源とエネルギーを大切に作る県民運動推進会議）

つどいでは、「ものを大切にする」省資源・省エネルギーポスターコンクール表彰式、ストップ温暖化クイズ、環境キーワードとその具体的な取り組み、環境・消費者団体の活動事例、全体意見交換など、地球環境問題について、今後どのような取り組みが出来るかを考える場になりました。ならコープからも多数が参加し、「親子でチャレンジ エコライフ大作戦」のテーマで「親子環境家計簿」の取り組みについての事例発表を行いました。



## 食料自給率向上への取り組みシンポジウム

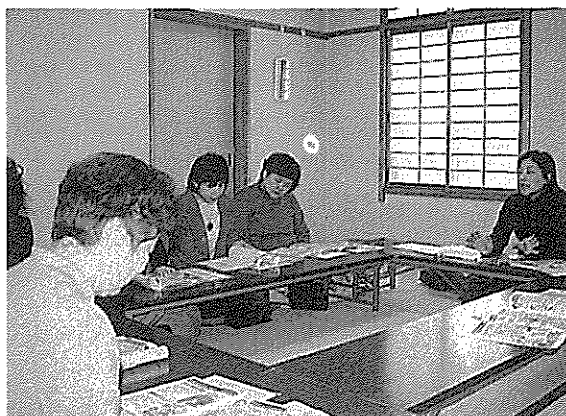
1月29日大阪合同庁舎において開催されました。（近畿農政局主催）

今回の開催の趣旨は米粉パンの普及を米消費拡大の切り札にできないかということで、4人の事例発表と米粉パンの試食が行われ、パン製造事業者や消費者等約400人が参加しました。

## 消費者問題出前講座

— あなたを守る消費者契約法 —

内閣府国民生活局消費者企画課の委託を受け、(社)全国消費生活相談員協会が実施主体となって開催されました。今回全国実施に至った背景として、消費生活相談において、契約に関わる相談の割合が過去最高となり、今後も増え続けることが予想される中で、消費者が被害に遭わないための啓発と、深刻化する消費者契約関連の苦情・紛争に効果的に対応するため新しく制定された消費者契約法の理解を深めることを目的として開催されました。このような呼びかけに応え、当連合会として、ならコープと連携して、高齢者の食事の会等に呼びかけて、1月18日～3月4日の間、ならコープの店舗等11ヶ所で開催し、延べ172名の参加がありました。講座では、巧妙な悪質商法の手口について紹介され、多くの参加者はうなずきながら熱心に聞き入っていました。そして、被害にあわないための心得と、被害にあった場合の対処の方法として、クーリングオフ制度の活用や、消費者契約法の活用について学習しました。



# つながる連帯・友好の輪

## 奈良教育大学生協

—学生委員会活動をふりかえって—

奈良教育大生協学生委員会は新入生を暖かく迎えるため、2001年度は以下の活動を積極的に展開しました。

1) 宿泊受験生に対して、ワシントンホテル、ホテルフジタ、三井ガーデンホテル、サンルートの4箇所にわかれて、泊まり込みでのなんでも相談会を実施しました。参加受験生は延べ40名をこえました。なんでも相談会実施案内は、受験生の下見時に学内で、受験生に対してビラを配付する事でスタートしています。

2) 情報紙「カリン」「ならマップ」「奈良教育大生生活ガイドブック」の編集を新入生向けに作成しました。ならマップは遠方からくる学生が奈良で暮らしはじめて戸惑わないように、友達からの情報や自分達で歩き、利用した経験を基に、先輩学生としての良きアドバイスを紹介する形で55ページ物で作成しています。

3) 友達を早く作れるように入式前に「さくらハイク(奈良市街の散策とゲームを楽しんでの友達作り)」を推進しています。

4) 下宿生には、自炊が出来るように料理講習会を入式をはさんで延べ4日間、50名の参加で実施しました。参加費は500円のみで生協食堂を利用して行いました。

5) 卒業生からいなくなる下宿用品、主に、ベット、電気製品、その他下宿生に必要な商品を新入生に無料で提供するリサイクルフェアを4月1日前後に実施しました。自分達で商品の回収をし、新入生宅まで届けるボランティア活動です。毎年の実施により、情報が口コミで広がって今後さらに大きな輪になっていくものと思われます。

6) 大学生生活や勉強にも慣れが出てくる5月には、健康相談として「食生活相談コーナー」を京滋・奈良地域センター、栄養士さん3人のご協力で行いました。食生活の実態から、健康的な食生活のために不足しているものは何なのかを知り、アドバイスを受ける事で、より楽しい大学生活を送ってもらえたらと言う期待を込め

て開催しています。参加者数は50名でしたが、生協として今後とも継続していきたい企画です。

7) 夏祭り企画(七夕)として、ゆかたや民族衣等を着て食堂店長の協力のもと、自分達で料理を作ったり、ビンゴゲームをして楽しめる企画を準備しましたが、雨と宣伝不足の影響で参加者は予想より少なくなりました。

8) 大学祭では、生協として紙すき大会を実施しました。子どもに紙すき体験をしてもらうもので、環境問題の学習にもつながり、教育大ならではの催しだと思います。

以上が主な学生委員会の年間活動です。このような活動を他の生協にもひろげ、ともに行う事が、大きな仲間づくり、地域に根づいた教育大づくりだと考えています。今年は大きな飛躍を遂げたいと考えています。

(専務理事 宮崎)

## 奈良工業高等専門学校生協

入試シーズンも終わり、どの学校にも新しい学生さんが入学してくる季節がやってきました。そんなシーズン終わりに、僕はテスト期間中にこの原稿を書いているのですが…。

僕達の学校でも、今から新入生のための歓迎イベントに向けてまっしぐらです。反面、学校を卒業し、いなくなる方々もいるのですが、その方々ともしっかりと連絡を取り合い、新入生とも「繋がり」を作る。僕自身も、去年は共済セミナーに参加し、たくさんの人と知り合いました。「繋がり」を作ろうと思えば、誰だって作れます。でも、なかなかうまくいかない人や、興味の無い人。そんな新入生に少しでも多くの人が学生生活の中で人との「繋がり」を作るきっかけを、僕達がお手伝いできたらいいなと思います。

(学生委員長 木村朋博)

## 大阪樟蔭女子大学生協

先日生協学生委員会で合宿を行い、今まで頑張ってきた先輩の生協の卒業式を行いました。そして校長先生や教頭先生、担任の先生などキャストイングして寂しい体育館ではありましたが、感動を呼ぶものでした。そして卒業生が去ったあとに新たに期待と不安をもって新入生がやってきます。今その新入生のための「新入生歓迎パンフ」の作成に学生が取材やミーティングに明け暮れています。そして、今年より新たに生協としてキャリアアップ講座を全面的な事業展開で行うことになりました。それに伴い学生の可能性を引き出すためのセミナーを実施計画しています。17歳問題などでゆれる年代です。価値や自分らしさ、自分の将来を真剣に考える場としてセミナーを企画し、そして自分の将来を見据え、あらゆる経験、また夢を実現するための資格取得のサポートと、生協も大学と一緒に学生成長を考える事業が始まろうとしています。事業的に成熟するまでにはまだまだ時間がかかるかもしれませんが、生協としてはとても有意義な事業に今後の期待と展望を見い出せるものと思い、取り組みを計画しています。その中には「学生にほんまもん」を見せようと計画しておりますので、その際には是非皆様の日ごろのこだわりや充実感などを学生に語っていただければ幸いです。講演や見学会が具体化された際には是非ご協力いただけますよう、よろしく願いいたします。(店長 羽賀)

## 奈良県立大学生協

2月20日、学生総合共済の学習会を行いました。大学生協の京滋・奈良地域センターの横山さんと坂倉さんに来ていただいて、共済活動について学びました。津田先生、学生委員13名と店長が参加しました。主に坂倉さんの助け愛活動の話をお聞きしました。坂倉さんが以前かかわったS君の話をお聞きしました。S君はガンで亡くなったのですが、生前共済を通じて彼の周りに

たくさんの人たちの助け愛の輪が生まれたこと、保険とは違い共済は金銭的な保障をするだけでなく、想いや心による助け愛ができることを学びました。話を聞いた学生は自分以外の県立大の学生にも共済の助け愛の輪を広げていきたいと思い、まず第一弾として大和路通信新歓号にこの学習会で学んだことを掲載しました。今年も奈良県立大生協で助け愛の輪を広げていきます。(店長 崎濱)

## ならコープ

ならコープでは、「次代を担う子どもたちに生協への理解を深め、子どもたち自身が勉強しながら作る新聞を発刊しよう」と「せいきょう子ども新聞『にじのはし』」を1982年4月に創刊しました。企画から取材・執筆までを子どもたちがこなし、現在80号まで発刊しています。記者資格は小学2年生から中学3年生までで、最近では7名で作っています。現在は、新聞作成の他に、アイスクリームを開発中。4月の完成を目指してがんばっています。

(広報課長 青木)



- 1/17 第4回理事会  
21 大学生協第2回定款見直し検討会  
29 食料自給率向上シンポジウム
- 2/6 アースデー第1回実行委員会  
7 近畿府県連協議会  
11 消費者団体交流プラザ  
地球環境を考える県民のつどい  
14 第4回事務局会議  
県指導検査  
15 県指導検査
- 3/1 3.1ピクニデー  
6 食品衛生法改正報告書学習会  
7 関西地連府県連協議会  
14 第5回理事会

## ●アースデー 2002 in なら

と き 4月21日(日) 9:45~  
と ころ 奈良県第一浄化センター自由広場  
内 容 大和川クリーン作戦  
ウォークラリー等

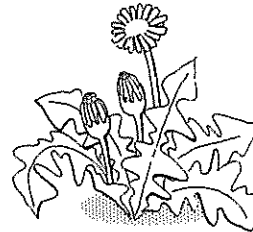
問い合わせ先 ならコープ組合員活動課  
TEL 0742-34-8735

## ●第13回 通常総会

と き 6月15日(土) 15:00~  
と ころ 共済会館やまと

## ●ピースリレー 2002 in なら

県内行進 6月26日(水)~30日(日)  
問い合わせ先 奈良県生協連合会  
TEL 0742-34-3535



## 編集後記

▽コープの店で二〇〇二年度の文化教室の案内を  
みつけた。教室は二〇以上もあり、「申し込みは  
一人一教室でお願いいたします」と書かれている。  
「残念!」と「うーん、いいなあ…」が同居し、  
今年度の生活リズムの中に、ひとつ新しいひとと  
きを!と、なんだか嬉しい気分になり、今、ひと  
つだけ選ぶ楽しみを味わい中です。(恭)

▽この春、長女が小学校を卒業した。ついこの間、  
大きな赤いランドセルを背負って入学したばかり  
のような気がする。ずっと小学生のままできてく  
れば良いのに…と思う気持ちを心の奥にしま  
いこんで、これから始まる中学校生活での新たな  
良き出会いを期待している。(寿)

▽食肉加工メーカーの表示偽装問題が相次いでい  
る。これまで、新潟産こしひかりのように、収穫  
量と販売量が大きく違い、偽装が疑われていたに  
も関わらず表ざたにはならなかった。結局、表ざ  
たにならないなら偽装した方が得だという風潮が  
出上がってしまった。生協は、消費者の選択に  
資する表示に一貫して取り組んできた。しかし、  
再度の工場チェックの中で生協の取引業者からも  
偽装表示が明るみに出てきた。生協の理念として、  
また、組合員の信頼回復に向けて、正直・誠実さ  
を基本とした取引業者との関係づくりなど、職員  
の仕事のあり方が問われている。(俊)